コマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ

来週の投資戦略（11/9-13）

ブルーな気分から脱せるか？

2026 年 11 月 8 日

小松　徹

注目事項　－　見所

7-9 月期企業決算―ソフトバンクグループ（SBG、9984）、三菱 UFJFG（8306）。
11 月 10 日、10 月の米国消費者物価指数　―　前月比+0.2%、コア同比+0.2%？

株式市場見通し

先週のわが国の株式市場は米国中間選挙結果を受けて大幅続落した。上院、下院だけでなく、データセンター（以下、DS）規模第２位と第３位の州でも民主党知事が誕生するため、DS に商品を供給する会社の株式が一斉に売られた。キオクシア HD（285A）36.8%暴落、スクリーン HD（7735）31.6%暴落など。一方、トヨタ自動車（7203）が今期業績予想を減益から増益に、自社株買いの追加、さらに中期戦略も発表したことで逆行高した（週間で+8.7%）。来週は SBG 決算発表が最も注目されよう。また、米国半導体株価指数（SOX）が金曜日の 4.2%反発が本物か確認したい。

来週の企業決算では、月曜日の古河電気工業（5801）、オリックス（8591）、三菱地所（8802）、火曜日のフジクラ（5803）、スズキ（7269）、SBG、水曜日のリクルートホールディングス（6098）、木曜の INPEX（1605）、トレンドマイクロ（4704）、金曜日のアシックス（7936）、荏原製作所（6361）、みずほフィナン FG（8411）、三菱 UFJFG などに注目。SBG の 4-9 月期純利益が最大 80 百億円とアナリストは予想しているが、投資家が知りたいのは 11 月 6 日時点の評価ではどうなるかだ。投資先 ARM や OpenAI の洗い替えを考慮すると赤字に転落したかもしれない。データセンターの建設、稼働の遅れが当社に今後どのような影響を与えるか、後藤 CFO の説明を聞きたい。

メガバンクはいずれも好決算を出すだろう。みずほは国内収益の比率が高いため、日銀の利上げの恩恵を最も受けている。証券の引き受けや M&A の手数料などにも注目。三菱 UFJ は 4-6 月期決算発表時に年間業績予想を据え置いたが、今回は上方修正が期待されている。リクルートは２四半期連続で 66%増益を記録し、投資家を驚かせ続けた。AI を最も駆使して高効率で業務を行っており、顧客もその恩恵を受けている。古河電工とフジクラの 7-9 月期営業利益が前年比それぞれ 2.4 倍、2.2 倍と強気のアナリストが予想しているが、そうなっても DC 建設が遅れた時の影響を投資家は知りたいだろう。

最後に、火曜日に 10 月の米国消費者物価指数が発表される。前月比+0.2%、コア同比+0.2%と前月よりは落ち着くと予想されている。先週金曜日に発表された 10 月の雇用統計が予想以上に強かったため、物価指数も予想を上回れば、市場は警戒ムードに入るだろう。なお、10 月最終週に海外投資家は先物市場で日本株を 54 百億円買い越していたので、まさか共和党が大敗するとは思っていなかったと想像できる。。

KPA の投資戦略

ロング（買い）	ショート（売り）
好財務の割安株、今期大幅増益株	高 PB 低位株、高 PE 新興株

(注)　ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。

日経２２５


75000
70000
65000
60000
55000
×千万
400
300
200
100
0
6
2026/7
8
9
10
11

TOPIX


4300
4200
4100
4000
3900
3800
3700
3600
×千万
400
300
200
100
0
6
2026/7
8
9
10
11

米ドル・円相場



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPA は本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPA は本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPA はいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPA は本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権は KPA に帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPA に帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPA は金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。本レポート執筆時点で、KPA 役員あるいは KPA のお客様はスズキ、リクルートホールディングス、INPEX、アシックス、荏原製作所、三菱 UFJFG を保有しています。

©2000－2026 Komatsu Portfolio Advisors Co., Ltd. All rights reserved.